

社会教育クローズアップ

帯広市立西小学校が開催した講演会へ取材に伺いました

9月7日（木）に帯広市立西小学校で、帯広市体力向上推進プロジェクトチーム講演が開催されました。元スピードスケート日本代表 押切美沙紀氏が、「オリンピックで学んだこと」と題し、講演をされました。本講演会に関わった、帯広市立西小学校教頭 伊丹 明美氏と株式会社 北海道パートナーズとかち営業本部長 丹羽 祐介氏に学校と企業がつながる効果や会社としての思い、学校が企業に講演を頼むことによる効果などを伺いました。



5、6年生を対象に行われた講演

学校が企業に講演を頼むことによる効果

まず、企業の方に話してもらうことで子どもたちの記憶に残ります。また、専門の方に教えてもらうと子どもたちへの教育効果も上がり、教員にとっては指導向上につながっています。さらに、企業に人材を探してもらえることで業務の負担軽減にも繋がっています。



伊丹教頭先生

企業として人材を派遣する効果・目的

子ども達への教育は地域にとって大切なので、子どもたちに関わる教職員のサポートをしていきたいです。パートナーズとかちの社員は十勝出身者ではない人ばかりなので、企業が地域に根付いていく、愛される企業になる目的もあります。



丹羽さん

教育課程のどこに位置づけられているか？

総合的な学習の時間の「生き方を学ぶ」単元に位置付けられています。



伊丹教頭先生

学校に対しての企業の思いは？

コロナ禍で一度関わりが途絶えてしまったので、社会と学校をつなぐ役割を担いたいと思っています。北海道パートナーズとかちは、地域に愛されて選ばれる会社を理念としています。学校を回り、管理職や現場の先生と話していると、先生方の理想と現実にギャップがあるため、サポートをしていきたいです。



丹羽さん

今後の企業とのつながりの展望

北海道パートナーズとかちと帯広市立西小学校の話し合いの場で「何か学校のために手伝わしてほしい」と丹羽氏から申し出がありました。今後も、学校側が受け身で事業を受けるのではなく、企業と協働しながら子どもたちのために教育活動を進めていけるよう、これからも協働していきたいです。



伊丹教頭先生

【十勝教育局より】地域学校協働活動を進めると、学校と企業双方にとってメリットがあります

地域学校協働活動による効果には以下のようなものがあります。

- ・子どもへの効果 → 地域住民と交流することで、経験の場が増え、地域への理解・関心が高まる
- ・学校への効果 → 教員が授業や生徒指導などに力を注ぐことができる
- ・地域への効果 → 地域住民が学校を支援することにより、地域の教育力が向上し、地域の活性化につながる

北海道教育委員会では、道内の学校や地域の特色ある取組等の情報を広く関係者で共有できるよう、広報誌「地学協働」を刊行しています。



【発行・お問合せ先】

北海道教育庁十勝教育局

北海道教育庁十勝教育局教育支援課社会教育指導班（田尾・皆川）
住所：〒080-8588 帯広市東3条南3丁目
電話：(0155) 26-9243（直通） 平日 8:45～17:30
E-mail：minagawa.keita@pref.hokkaido.lg.jp